

【 第15回 女子ジュニアアジア選手権 】

2019年7月20日～7月29日 レバノン・ベイルート

試合結果報告 7 月 22 日 (月)

JAPAN	vs	インド
18	1st	10
22	2nd	9
	ex	
	ex	
40	TOTAL	19

個人得点

No.	NAME	1st	2nd	ex	ex	TOTAL
1	榎 真菜	0	0			0
2	田淵 美沙	2	3			5
3	上田 遥歌	0	0			0
4	阿部 美幸	1	1			2
5	谷藤 悠	1	6			7
6	石亀 萌夏	1	1			2
7	服部 沙也加	1	0			1
8	弓削 春風	2	2			4
10	平野 宗香	2	4			6
12	大山 めい	0	0			0
13	安田 つぐみ	2	1			3
14	瀧川 璃紗	3	0			3
15	宇治村 唯	2	2			4
16	上嶋 亜樹	0	0			0
17	橋口 和佳奈	1	2			3
18	竹内 琉奈	0	0			0
TOTAL		18	22	0	0	40

戦況

第二戦はインドとの対戦。開始早々、日本はインドの力強い縦の2対2に押し込まれて、7mスローを与えてしまう。しかし、これをGK榎のビッグセーブにより立ち上がりのピンチを防ぐことに成功。日本は2枚目を守っている田淵の効果的な牽制プレーによって、相手のオーバーステップを誘発。これを平野が速攻プレーで得点し、先制点を挙げる。
勢いに乗りたい日本だったが、初戦同様立ち上がりに固さが見られ、テクニカルミスにより攻撃がうまくいかない。一方、インドはサイドのトランジションプレーやバックプレーヤーによる力強いカットインプレーなどによって得点を重ねていく。日本のDFは相手OFに対応できていない部分もあったが、それ以上に相手のOFミス誘発し、速攻で大量得点を奪うことに成功、前半を18-10の8点リードで終える。

ハーフタイムでは主にDFの修正点を確認した日本。その結果、後半立ち上がりから相手ミス誘発させるDFを展開、谷藤、宇治村、平野、弓削らが速攻で大量得点を挙げる。一方セットOFでは、ポストを中央に置いた縦の2対2を軸に、田淵のカットイン、安田のロング、石亀・橋口のポスト、宇治村のサイドなど、バリエーションのある攻撃を展開、相手に攻撃的を絞らせなかった。

後半ラスト10分、日本のセットDFでは疲労もあり、相手のカットインなどを許す場面もあったが、途中出場のGK大山のビッグセーブによって相手の攻撃をシャットアウト、最終的に日本は40-19で勝利、開幕2連勝を挙げた。

しかし、DFコンタクトやノーマークシュートミスなどの個人的な課題が残った。次戦のレバノン戦でより質の高いプレーができるように最善の準備をしたい。

報告記入者 :

永野 翔大